

バストス週報

第九十九号
一九五二年一月一日
第一行
第一部

登録名義人 森幸一
発行所 バストス自治会
郵政 二〇六番
廣告取扱 洛龍作市
編輯及印刷所
バストス週報社
C.P. - 二〇六

昭和二十七年を迎え

年頭の所感

バストス自治会長

石橋長児

媾和締結後の第一春を平安裡に迎えた事は在伯同胞として同慶に堪えない。長い間の戦争情態から開放された我々は今年こそ愈々本格的に腰を据えて活動すべき時運に恵まれ縦横の發展を約束された非常に喜ぶべき年である。

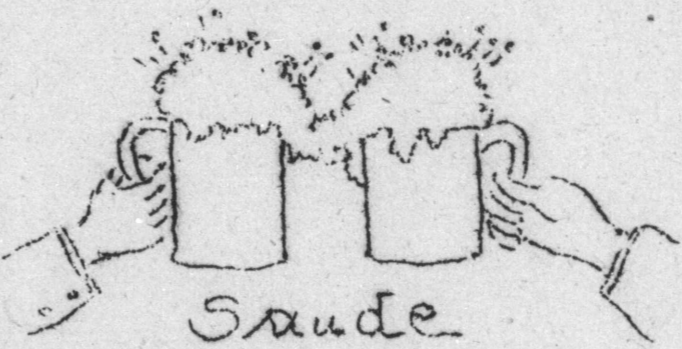
近時日本移民問題が日伯朝野の関心を高めたところあるは我々在伯同胞として衷心より喜ばざるものがあるが、顧みて往時の海興、フラ極の移住地が如何なる状況に遷転しつつあるか検討する必要があると思ふ。殊にその移住地に現住する吾人にとっては何反省すべき、幾多の問題が解決を待っていることを覚悟しなげればならない。

当時母國政府は国幣多額の賜に不拘、莫大なる国費を是等移住地完成の助成費として裂いたのであるが斯くの如くにして設備された移住地が果して将来渡伯せんとする新移民に対して歓迎するに足る状況にあるかどうか、鎮靜再考を唱ふる所以である。

バストス移住地はフラ極経営の四移住地の内最も早く完成しその設備に於て、その文化面に於て兄弟に長として盛名を挙げられたものであった。

賀正 一月元旦

年頭のSHOPP!



やア
御目出度う
やア
相かわらず

バストス市チェイスデレンバング口街五九一
パール本田

本田 一男

謹賀新年

一月元旦

農産物仲買商

バストス市街地ドッキネカミアス街

小林 谷 清

謹賀新年

昭和廿七年一月元旦

カーザ 杉

アテマールバードス街
杉 藤 介

疲弊して未だ瘡痕点々たるものがある、しかし吾人の慨嘆するは唯に外觀的衰微にありずして、此の危期を乗り切る闘心の欠如と団結心の弛緩とである、もう一步踏みこんで云ふと我々がもつ獨特な精神をさへ、懐き違へて居なかつたかと思ふのである、

トレスバス移住地は地の利を得て頃未著るしい發展をとり、經濟面に於て最高峯にあるのみならず、その文化面に於ても大いに見るべきものがあるといふ。チエテ及アリアンサもそれく危期を脱し前者は棉作に新機軸をみし、後者は畜産に覇を唱へ共に競つて文化面の興隆を圖つてゐる、然るにわがバストスは前掲三者に比して遜色見だしく識者の等しく憂慮する所にして不屈の覚悟と不撓の闘志を以てせざれば、その空白を埋めがたい事態に立ち到っている、

戦後数年を吾人は不幸なる相克融和に費したが、此の新春に會して大いに奮起し大いに劃策して文化の地バストスの再建に邁進しなければならぬと思ふ、以下少しく吾人の所感を披瀝したい(以下新年号第二部へつづく)

謹賀新年

一月一日

本年も不相愛御引立願上します

中城洋服店

バストス市
ドッキネカシアス街
中城 桂

新年号について

本週報新年号發刊に當り後援して頂いた廣告家諸君に厚く御礼申上します、紙数多いので便宜上第一、第二部と致しました、完全な設備でありませんから此の点御賢察願上します(係り)

賀正 一月一日

どうぞ本年も御引立の程を

パル水口

バストス・ドッキネカシアス街
水口 修
水口 修

謹賀新年

一月九日

千歳製靴店

バストス市
ドッキネカシアス街
黒木 富 藏

謹賀新年

一月元旦

池内文房具店

各種レコード
御贈答進物用品
ドッキネカシアス街
池内 藤 茂

恭賀新禧 一月元旦

カーホクリスタイル
ガラス製品
陶磁器
食器類
阪東 春 歩
阪東商店

バストス市 ドッキネカシアス街

謹賀新年

昭和廿七年一月元旦

コムツタ写真館

古田正夫
高谷幸一

コンエエタリアフルタ

バストス市アホマル・バルロス街

古田義松

賀正
一月一日

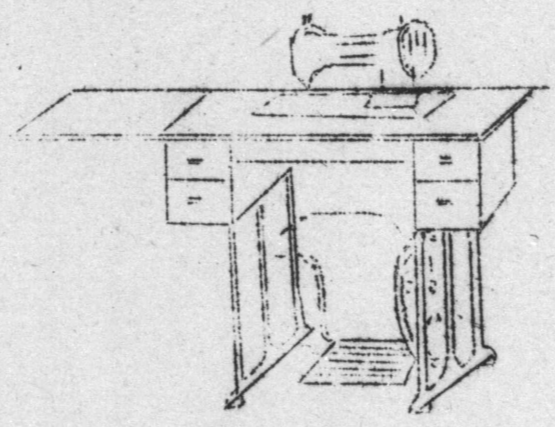
小茂田呉服店

小茂田光明

バストス市 ドッキデカシアス街

明けまして御目出度う存じます
1952年 正月 元旦

PFAFF ミシン代理店



バストス・アレシホンテバルガス街

前田呉服店

前田育人

賀正

一月元旦

三菱ミシン特約店
マルミコック印

圧力鍋

日本製各種蓄音機

種物各種

雑貨小間物

バストス・アホマル・バルロス街

植木商店

バストス歌だん

いち早く物産明刻告ぐハツサフレット
次いでチコチコ、ベリキツトなど

修水

敵ることのゆめあらざらんマゴイの
樹の葉がく氷にして一つ病まふ

修水

とわらびの会

パーマメントのびて重たき髪洗ふ マリ丁
油虫くまきコッカにもてなされ

くもの葉に首つっこみいあはれ牛

ハル中村

バストス市ネイスホベニカコ街

中村國政

謹賀新年

正月元旦

謹賀新年

一月元日

内外雜貨
食料品
農薬品一般

カザコニア

重道永榮

バストス市

アチマルバルロス街 七六

郵函八九番

養鶏家座談會

一月五日午前十時より佐野食堂に於て
バストス養鶏家の座談會を開催致し
どうぞ申込み下さい
バストス産業組合

謹賀新年

一九五二年一月元日



株式
會社

南米銀行

バストス支店

郵函一一四番

恭賀新年 一月元日

念腹先才出張所

俳句指南

仙人掌庵 糸音

但し月謝不要 最も芸術的なる被褥を
三月速成卒業請合

喪中につき

款禮仕り候

一月一日

太郎田 衛商店

アチマルバルロス街

郵函五一

受取人

西見新一(富妻)

福岡 西見 武夫

豊島一(ハ)

北海道 T.オカダ

會田正信(カ)

福岡 會田 正次

右日本支店の来信、植木商店に預り居ります
す致す心当りの方は仰いで下さい

人物紹介

熊野山人

バストス副市長

座喜味パウロ君

ココニヤが生んだ初の日系副市長が我がバ
ストスから選出されたことに郷の誇りを感じ
る、多士者々のバストスにコメッタの如く現れ
この光栄を戦ひ取った座喜味パウロとは、そ
も何者であろうか？

彼の出生は一九二〇年といふから当年三十二
歳の若者である、移民と感情的にも丁度
的にも最もつがりの深い港、ナントスに呱呱
の声をあげ、小学校から商業校に到る迄少
年期を此処に送っている、

学校を出て社会を見る一歩し、眼が利くよ
うになったと自負するパウロが選んだ道は
官吏でもなく、実業家でもなく、実に黄
金の雨降るソコカバの綿作であった、

現今の青少年の夢は官吏か大実業家か
医者かと相場が決つてゐるが当時の日本人の

社会に置かれたニセの立場は想像以上に悪
条件であった、道を阻むものは同胞であつた一
トロに二世と見下され、アラジン人側からはジャポン
ネ夫との差別を以て扱はれる時代であつた、
青雲の志に燃えるパウロの前途に展けて
見える一、筋は折柄の景氣に迄の如く浮
き上つた綿成金の足跡であつた、

綿を作らう、思ひ立つたが実行に移すばかり
とアウアー附連のセルケラ、セサルに父と共に
棉作のオ一歩、黄金の雨の中に飛び込んだ、
アバー、パウロがストと転々と居を移し土にまみ
れ、働いた、がしかし他方眼で見るとこれも無理
な道ではなかつた、虫害！値下り、引続く無
理な過度な労働から、コレクタに買されるな
か次々に起る悲惨な運命に達着した、

モンテオリ奥に遠入つた頃から戦ひ疲れた彼
は一時の休養を求めてバストスにゐて来た、結
婚によつて人生觀に変化を見たとともに一つの原
因であろうがとにかく綿作十一年の苦闘に
よつて得たものは、ボロボロの半數を占める農耕
人の不遇を直かに体験したことであつた、
知人もなく家族を抱えての彼に、バストスに寄
こなく流れついた者の歩む定石通り(次頁へ)

乙、加貞

一月元日

バストス發電所

石橋 農具 研究所

石橋 長 児

従業員 一同

細君の執働は約して製糸工場に達した。益々多
 量運ばと日夜彼もオベリオとして働いた。非
 凡な頭腦も、教少がた。他國中学校出入資
 格もここには問題外であった。

しかしフランス語の勉強、法律、會計事務の
 研究には復食を忘れて返頭した。後日に到っ
 て彼が農家の不遇を身と以て経験したことに
 この法律、會計事務の研究が花咲くを、不
 き作るものであるが、諺に云う、まかぬ種子は生
 えぬと、その通りであった。

雌伏すること二年有餘、彼のすむれた會計ま
 の智識とかラセル語の練達を聞き知った。會
 計事務所の浦君が人材と埋もれすべしとな
 いと彼をその事務所へ迎へた。時に年一九
 四六年、噂に違はず彼は凡庸でなかつた。
 特にフランス語の文章に到っては、元々、エッセ
 の記者としたといふエリッキ氏より舌を捲く
 程の名文と綴り、バネラス高業事務所の一偉
 彩を加へたりである。(本稿未完、新年号オニ
 部へつづく)

謹賀新年

一月元日

バザールボンボ

バネラス市アテマルバネラス街

守越 外 治

郵函一〇五

恭賀新春

一九五二年元日

宮崎寫真館

宮崎北 眠

バネラス、フェイス、アベシ、ア口街、六四五

謹賀新年

一月元日

開校以来第二回卒業生を送
 リマシタ本校ハ質実剛健ヲ
 モットトシテ養成致シテ居リマ

普通科 六ヶ月

速成科 三ヶ月

研究科 任意

寄宿舎、設備アリ

随意入学受附

落籠織女學校

賀正 一九五二年元旦

お正月興行と致しまして、おまかせの
 舟橋聖一の大傑作、上取いたします

雪妻人繪圖

新東京連続巨弾の如き名篇を放つ
 木暮実千代、上原謙の名コンビ

帰郷

大佛次郎作
 濃艶木暮実千代
 の名演技

於シネマバンテイオンテ

一月二日、三日、四日上映

暁シネマ社

水野梅吉

戸籍係より申しらせ

聖市在外事務所より左の方々の婚姻
係に不備の点を指示して返還して考り
ましたので至急当所迄御云向させたい
まとして夫等の本籍の番地記入の魚
いのが原因です。もしとうして不詳な
る時は渡伯年月日及船名を御申出で
下されば事務所にて調べますが出る由

十二月十五日 石橋事務所内

戸籍係 島本 公

- 古賀士知、サウテ北谷寛
- 山村清一、廣瀬栄吉
- 千早松三郎、サウテ松原克
- 信太龍吉、カ、森下竜雄
- 増永 登、アルト 嶋原川 茂
- 廣瀬逸郎、カ、片寄一正
- 廣瀬橋郎、カ、岩口満重
- ウニニニ 岩中咄文(セルビ)

Dr. TOKUDA

奥田齒科 院 醫

加賀 正

一月元旦

アツソ一ギ

O.K 奥田民藏

フレシテンテ ヴァルガス街

恭賀新年

一九五三年 一月元旦

三〇〇〇日 脱粒

市用命に感じます
かしこく御申込下さい

尚本年より

夕べア真他

製材の御注文にも応じ
ます故 御利用下さい

榎 常 孝

昏れなぐむ空にかかれる月白し
馬場の月はまだ帰らぬ
ウルドナの鳴く知道、歌しつづ
妻と戻れば夕月見ゆる

美 扶 重 森

謹賀新年 一月元旦

カフワサ製衣 作
トラワートル 修繕 其他

木林田 鉄工場

森田 桂 奄

新春詠 阪東春歩

一片の雲もとどめず今朝の春

初日影躍る椰子葉の金銀に

談話 バストスむかし新し(七)

糸音……紀南子

(糸音) 學藝會では業音機に合せてバス
 オがいの新派付けを見せたり、コリア對話
 をやったり、大いに父兄の心を和らけておいて扱
 て吾々教員も、とりやめお預かりした生徒達
 の教育に全力をつくしているが、何がさて奉
 職以来月給と言ふものを貰ったことがない
 事務所から金を借りたことはあるがそれは
 借金としておるに過ぎない、いつ返らうてもか
 かる事情ではないかに教育者といへども人間
 である以上食わすには居られぬ、倅金お
 金でなくとも米でも豆でも野菜でも志し
 方々の御寄贈があれは、おカクとしてほそそ
 もやうてゆくつもりである、と言ふ句々後、
 校長は懇辭を以て父兄の心を控すぶの
 たのである、此の功々たる新へには、さすべ
 直末者も流れ込みも吃驚して善後策
 を講ずるに至つたが、学友は飽く連植民
 者、自治に於て經營すべきもの也といふ

謹賀新年

正月元旦

バリエ・菓子

BAR KIKKO

バストス市、テイス、テノベンス、街
 ポストセツテの隣

建 甲 保

賀 正 一月元旦

パール・バストス

鮮魚販賣

シネマ館上、角

柳 浦

事務所側の鉄則が勝つて、これを契機
 として道路の管理、教育問題を司る自治
 會の新興を見るに至つたのである。

(紀南子) 自治會はそんなにも古くからあつたので
 すか、初代会長は?

(糸音) 通称代議士と通つた清水伴三郎だが
 何しろ事務所の新築立ての案で代表士が
 買収されたんだ、例の荒武者達が強き立
 てて又々こわしてしまつた。『まういふおせつか
 いをするから事務所が何れも植民者に
 仕事を押しやるのだ、先ず何れも事務所
 が約束通りやつてのけて適當の時期に於
 て移住地の全機關を植民者に移管すべ
 きものだ』といふのが荒武者の云ひ分だつたのだ
 移住組合連合會から、南里、末松など少
 壮職員が来て追々と事務所は陣客を強
 化し新橋米所、衣油工場、精糖工場、
 電所等、續々建設されて外觀的にも移
 住地の面目は一新され、事務所の方針に亦
 魔々する提督も出て来て、いよいよ移住地自
 治會實施に與利な態度となつた。
 (糸音ハッハ)

謹賀新年

一月一日

大家呉服店

バストス、アネマル、バース、街

大家盛文(郵函七九)

謹賀新年

一月元旦

梶田雜貨商

アネマル、バース、街(郵函六四)

梶田 實
 大塚 唯
 境井 敏
 明

（まがし話つき）清水初代会長は根を巻いて
 帰国してしまつた。その後へ故郷山大佐が二
 代目自治会長としてスラホのお先棒をか
 つぎ遂に自治會は完全にあま上つたので後に
 創立された産業組合と相俟つて畑中さんに
 協力し移住地自治化に拍車をかけたのである。
 学校は次々と各區に建ち経営はその所在
 區が擔當した。初期は日本語身同で後に
 カルホと併立したが随分伯國語を嫌つた
 ものである。おかしな話だが和魂和才でお
 し通す氣であつたらしい。後二條十代はけ
 和魂の驍將で足許の明るい内に帰國
 してしまひ二代校長はリオ法大の木下正夫
 一年ばかりで山岸先生に替つた。山岸の頃
 から依然カルホが強化され日本語はた
 んく影がうすくなつてせりにくくなり父兄の
 變遷進歩保守の二派に分れて教育問題は
 いさばも難題として議論の的となり進學
 上の嬉りのようになつた。（以下第二部へ）

赤根出長よりミシエエホラ事件に關する聲明書と
 寄せられました。が次回に掲載します

賀正 一月元旦

贈答品
 日用品
 雜貨
 小間物
 バザールキング
 本林商店
 アテマルバロス街（郵函一三五）
 森辰市

謹賀新年
 一月元旦

鶏卵委託販賣

バストス市 フレレキチケナルガス街
 山根 三三 太
 郵函 六七

新年の目出度う
 旧年中は大曾お引立に預り
 ありがたく御礼申上ります
 何卒本年も相愛らまするしく
 願上ります
 一九五二年一月一日
 ジュリオビアレサントス

恭賀新年
 一月元旦

ESCRITORIO ESTECOR

會計事務カ
 エステコール

アテマルバロス街 三五六
 東ビトリオ
 茂庭 茂

謹賀新年
 一月元旦

鮮魚商 永橋

結婚並進物鮮魚御注文ニ應じます
 果物
 野菜
 餅
 アテマルバロス街
 永橋政次郎

蚕糸界の重戦車

奮進！躍進！

橋本の蚕種

ブーシル蚕糸界に革命を興ふ

昭和十七年 一月元旦 新賀年

見よや放つ此の巨弾

新品種

白葛種

黄葛種

アジア

ニシキ

遂に完成

橋本蚕種製造場

バストス市郵函五〇



是れ ダンス是非か (三)

(時) 一九五一年十月十六日午後三時頃

(場所) カスカッタ渡部パウロ居

(人物) 農田實、時川素牛、渡辺パウロ

浦記南子、織田糸音、春枝、千代子
其他

元聖州新聞の社長香山六郎(俳号毒露)は飄然と来極し農田ドトルと曰知の河柄なる故ッビー語字典宣傳のフェリタを以て一同カスカッタ渡部パウロ居の招宴に押しかけ其の席上談たまへ「ダンス論」に及ぶ。

(農) これを見ては俳句をやる奴ばかりだな、今日は何句會やることなりんぞ。

(主婦) だって香山毒露さんがおいでたのに句會せんのもどうかと思ひますか。

(農) いかん、俳句よりダンスの方がいい……

(パウロ) ドトルは踊れるんかね

(紀南) おれより北とひといふ、ニニ度けいこそしたが物になりまじまじだ。

(農) おりやア飲むからな、飲む方がダンスよりいいだがひとの痛るのはじめせよ、ただど度かすぎぢやいかん、まア其の点酒と同んじだナ。

(糸音) こないだ、紀南子のお光棒をかついでダンス座談会の記事を週報にのせたんだ、するとキナ子君が街の美人達から攻撃を受けまへつてかいてゐるんだが面白いね。

(春枝) おちさん、おれは、とても評判がわるいわよ、女性を侮辱してゐるって、あの席に一組もいたんだって皆からやられたワ……

(糸音) そうかおエ、私は侮辱した人であつても考へてないんだが……、あなたはどうです、侮辱を受けたまふに感じますか。

(春枝) 私はまだ読んでいないの、(紀南子) うまく逃げましたね、おれはしつこい追まなくちや論旨が泣きますよ、おれは、はたかにダンスを奨励しようと思つてゐる、しかしどうせやるなら立派な組織をもつて其の傘下でやる、責任ある監督者が主催してやるようにならねばまじしうへたらと思つて發案したのだ、それに何かや、口を閉じたらすぐがなり立てる、それでは話がおれん。

(農) おれは、あの記事見た、がまだおひ足んと思つてゐる。

(春枝) 糸音のおちさんと呼んで、やつつけてやるんだって……

(糸音) ほんまかいな、わしは美人には頭がよらん

で取消を告ぐと云せるといわけたらどむなりんがナ
(農) 取消すことがあるか堂々立會つてめんない
(素牛) 道頓行つて見ないでよく知らんが、クマが
多すぎ、おそく道頓かけていてもとうとう一回
もお種がまわつて来なかつたなと、お話もある
それで相手欲しやといふ態度になり、それが、青年
を自然懐心させるといふか、そういふ所持に於る、
他所から来た青年などは、よりどり見りのモツサ
が、山並んでゐるので、ついバスターはいかことだとい
ふような印象を受へるんではないか……
(パウロ) バスター外の子そのバイレは、おんなんがね
(此稿 第二部へつづく)

謹賀新年

一月 元旦

ポストセッテ

林 武 七

POSTO SETE

バスター市街地

アテマルバロス街角

林 武 七

謹賀新禧

祈 將 来 厚 誼

一月 元旦

バスター市

板垣 泰 熊

バストス週報

第九十九号
一九五二年一月一日
第一一
第二部

登録者 義人 森幸一
発行所 バストス自治會
郵函 百六番

廣告取扱 松澤 作方
編輯所 同上
印刷所 バストス週報社
C. P. 11

昭和二十七年

年頭所感 (完)

バストス自治會長

石橋 長 児

前 談

その第一着手として吾人は文化委員会の創立を提唱するものである。農事指導、衛生、教育の三部門をその骨子とし、全移住地在住者が挙って意氣と更進することこそ躍進への正しいスタートである。

農事研究並に指導は農村經濟の振源であり機械に於けるエイシヨである。チエテが棉作改良研究で更生したのも他山の石として見逃してはならない。

衛生部門は病況を中心として検討すべきであるが我が移住地の病況には因心賜病棟の嚴存することを忘れてはならない。ここに住む限り、日系と一世とに拘りなく民族的な繋りといふ切実な感情を以て心を一にすべき課題である。過去にあった不幸を講じ恩賜病棟を獲るの一筆によって一掃し、ここに定住する良運を迎へて所期の目的に到達したいと思ふ。

教育問題は吾人の最も關心するところにしてカンシヨセ中学に協力して向學心の宣揚を計ること勿論重要であるが、近時農村青年の日本語繙練を等閑に附したる結果、折角クルッホにて修得した葡語のウチを發揮するに至らず、誠に痛痒の感に堪えぬものがある。吾人の子弟が日系人として伯国社会に貢献し得る最善の途は日本民族の優秀を同化の第一條件とするにあり、その真隨を掴む爲めに必要なる日本語教育を修得せしめなければならぬ。この事は子弟の發奮に待つは勿論、父兄の充分なる理解と奨励に俟たぬは達成しがたき重要

加天 正

旦 元 日

合組業産 アチコ

呀張出ストスバ

謹賀新年
一九五二年一月元旦

バストス 産業組合

- | | |
|------|----------|
| 組合長 | 石橋 長 児 |
| 専務理事 | 中島 善 治 |
| 常務理事 | 吉浦 秀 次 郎 |
| 理 事 | 池田 廣 道 |
| 同 | 池田 信 二 郎 |
| 同 | 味野 謹 子 |
| 同 | 大野 英 雄 |
| 同 | 村上 壽 太 |

問題である。各道に於ける青年団の指
 導者達も此の問題の重要性を痛感し
 て居る筈であるが一般又先に於かれても
 一層の自覚及び奮起を願うたものである。
 此の目的達成の爲めには奨学金の建設
 しなければならず、回覧文庫、巡回講義
 の他適切な事業が討議と進めなければなら
 ない。
 かくの如く移住地文化の向上に寄
 在住者の養育するの力なりす。特に論議さ
 れつつある移民問題の促進運動となり
 換言すれば伯國並に母國の大きな親善
 とするを意味するものである。
 此の言を以て年頭の所感とする。
 (了)

賀 正
 元 旦
 ス ト ス バ
 製 糸 工 場

敬 明
 修 水
 〇いち早く黎明刻告やハッサアレット
 次いでチコチコ、ペリキットなど
 〇散ることのゆめあらざらんマンゴーの樹の葉
 がくれにして一つは病葉

謹賀新春
 一月元旦

佐野食堂

佐野信子

謹賀新年
 一月元旦

新書サッコ賣買
 修理一式

平井中三修繕所

平井俊雄

謹賀新年
 一月元旦

パタリアパストス

伊藤藤栄登

謹賀新年
 一月元旦

三野製菓所

祝儀
 佛事
 用御菓子御誂文に應じます
 三野善一

謹賀新年

一九五二年一月元旦

佐々木薬局

親坂町噂 迅速

皆こまの味方として
奉仕いたします

バストス・フレシデンテ ヲアルガス街

佐々木久輔

謹賀新年

一九五二年一月元旦

前山商店

何卒本年も相不変御引
立の程願申し上げます

カフェー エンポー (インジコ印)

セルベイジャ マイフレックタ

代理店

バストス市

フレシデンテ ヲアルガス街

前山義雄

戸籍事務所より放送

新年号第一号所載の分重複するものあり
れと念のため再録します。昨年十二月届出
書類の内婚姻届に不備の点あり受理せぬ
もの左記の通り

坂垣操一、上島照吉、十早松三郎、

片寄一正、廣瀬吉郎、全逸朗、全勲

鳴原町喜、森下建雄、松原克

山村清一、小林清則 (以上妻不籍番地)

増永金、吉賀土和 (以上夫不籍番地)

北谷寛 (拇印、場所不詳)

梅山喜三郎 (足不詳)

番地不明のものは渡向年月日と船名を知らず

左の如く日五急、戸籍届証明書作成費

御持参下さい

(カスカツタ) 渡江、平井、管波、石田、(エス)

ラシヤ区) 池田、虎岩、(スワア区) 榎本、内バ

(ウオン) 宮田、(ワアル区) 新谷、小倉、西、迫

(アロケ) 梅山 (中野) 西長園、三沢、紫藤

賀正

一月元旦

ロタツツン

バストス

イアツ明

間

時間正確に汽車との連絡

待合 殺着所

本田バール前

ロタツツン 組合

人物紹介

熊野山人

バストス副市長

座喜味バウ口君 (三)

一九四七年 第二回の市議に推されて立候補した頃はまた彼の名前すら一般に知られていなかったが一度彼の手を煩はしたことがある人々にはその人柄その識見を高く買われ自然の選挙運動となり見事に当選した。農家の立場に深い同情をもち一般市民には仕事の上の関心を抱く彼の市議としての活躍は、よしや人目にはつかなくとも献身的であった。お席をザボル市議の多い中で殆んど急死勤の市會に赴き、乏しい家計の中から専向書を購ひ、法律の究明に徹夜したりと高價なライブラリーを購入して人々の依頼の預書と自宅で打つことが続いた。彼の信條として本業は本業、役目は役目としてのけじめをばりきり区別してかかつてある。従って執務時間中は本業の事務所を外にして政治や私事に絶對に時を貸さないのが常で退所後は仕事以外の仕事がつまらぬのである。裏中の鐘の例である。只管表面に出ず、縁の下のカ持ちとしておる彼の人物と学識は、いんぐと衆望を集め市會では議長となり、やがて今度の市長、市議改選には P.S.P 及 P.T.P の双方から副市長に推されたが立場上 P.S.P 候補として名乗りをあげた。中氣の爲め病臥中の父の看病は一日も欠かさない彼は他人のようには必死の選挙運動は出来なかつたが、よく果を果の遂に栄冠を獲得した。コロナ初の日系副市長は遂に生れた。新聞は筆を揃えて彼の勝利を讃えた。祝電は山と机上に積まれた。しかし彼は肩一つ動かさないうち私光栄ではない、バストスのボーボが戦い取ったタイトルです。世にそれよりもバストスの前途に、コロナの將來に山積した難関があります。私は政治の面で頑張ります。みんを職域奉公です。

加具心 一月元旦

バスターデント
 業者組合
 バスター
 出張所

郵便一七五

賀正

一月元旦

ジエケリ
 業者組合
 バスター出張所

古賀繁男
 長橋 智
 加納嘉幸
 石澤信吉

立場立場でお互いに最善を盡しませう
口数の多い彼の一言は百舌の力がある
私達は彼の将来にも拍手を送らうかは
いか...副市長首選の彼の日の感激の
拍手に續けて。(了)

謹賀新年

一月元旦

古澤野菜店

新鮮な珍味いろいろ取揃えて
居ります

アテマルバロス街
古澤 市次

加賀正 一月元旦

位本質品

ウキタのレイテ

- 一 飼料が吟味してあるので味がよい
- 一 絶対まじり物がありません
- 一 清潔で早朝配達が評判です

スロリア 浮田

バストス椰子樹短歌會

新年雜詠

東野 曉風

おぼろなく照らふ初日に影ひきて
朝顔の花 佛桑華の花

かゞやかしき心とちて元旦に
日の丸揚ゆしむはや十年の時

この國に骨埋む覚悟をこたえて
妻がつくれる雑煮いたゞく

謹賀新年

一月元旦

毎夜引立に預りまして
有り難う御座います

心言家ノ子戸田

戸田 露子

アテマルバロス街

謹賀新年

一月元旦

岩崎鉄力店

迅速丁寧
修繕一式

アテマルバロス街五五〇

岩崎 惣吉

加賀正 一月元旦

多回リッア

家具製作所

結婚調度品 草蓆鏡台
卓子椅子 寢台 其他一式

アテマルバロス街五二九

福 森 照夫

恭賀新年

一月元旦

ウニオノ薬局

懇切丁寧

晝夜開業いつでも丁寧な致します

アテマルバロス街四六三

板垣 秀 勢 雄

皆様 申日三夜う存じます

とうき相変りませす

おなじみの
佐野食堂

元々

カレシテニテ ウアルガス街

佐野 信子

恭賀 新年

一月元旦

ラテンソニ
帽子代理店

藤井呉服店

カレシテニテ ウアルガス街

郵便ニ。着

謹賀 新年

一月元旦

明けましてお目出度う御座い
ます 尚本年も相変りませ御引
立の程願上りませす

バズ大市

伯光園

賀 正

一月元旦

人造石 美術製作

セメント加工細工一式

カレシテニテ ウアルガス街

杉山寅藏

謹賀 新年

一月元旦

各種製菓

卸 小賣

ハルヤ

カレシテニテ ウアルガス街

香 榎
市 作

江村 健次郎

外 一 回

職人 藤野 天 救 名 善 集

カレシテニテ ウアルガス街 郵便ニ。着

歌 壇

羊 鈴

夕陽の光を浴びて 鳴いて 歸れば
おちかたにて カレシテニテ の声

夜 詩 集

叶折るは 春のまに ても 連れ出けと
嫁は 思恋を 降に 二 降し 居り 居

張 舟

幼きと 妻が 許奇せ 現く 煙
春暮方の 空に たゆとう

謹 賀 新 年

一月元旦

尚 本年も 相変りませ

申 用命の 程 祈り ませす

高橋洋服店

カレシテニテ ウアルガス街

高橋 用 信 又

明けまして御日出度う
御座います
尚本年も相不変御用命御引
立の程願上ゆきす

バカル木村

文房具 木村久摩一
玩具 買
装身具
フレシテバルガス街

福落し



旧臘廿八日市内山本商店へ買物が
所要で来た方では
時計を落した方はありま
せんか、心当りの方はフルカ及型
を申出で下さい。高田時計店
に御頼りしてあります。

恭賀新年

一月元旦
本年も相愛り不御引立の
程御頼ひ申上ります

カシガエスブランサ

藤原金物店

日本製共立撒粉機
全宿谷式撒粉機
全三共粉末ホルダー
到着

フレマルバロス街
藤原直輔

謹賀新年
一月元旦

古川野菜店

古川齒科医院

親功下筆とモットーと致します
フレマルバロス街
古川 勝

謹賀新年
一月元旦

鶏卵飼料 反次

川内鶏卵委託商

バストス代理店
岡本 一二

バストス川柳

新春 奇峯

元日や晦日なれば良い世界
サンバからワルツに替り明の春
再建の晴和日本初日の出
遊覧へちと物足らず祝ふ層蘇

謹賀新年
一月一日

靴並 馬具 早川商店

フレシテバルガス街
早川 繁松

恭賀新禧

一月元旦

ウニベルサル

裁縫女学校

校長 栢野口一夫

普通科 六月

速成科 三月

入学随意 寄宿舎設備アリ

謹賀新年

一月元旦

家貝製造販賣

八重櫻辰巳

バスター郵函 一一六

加賀 正

一月元旦

内外雜貨

上島商店

上島 晴夫

カレシマシテ バルカス街 三五三

とうてい本年もよろしく

申引立の程願上します

賀 島本寫真館

正

一月元旦

慈骨 正

助産婦

談 対 バスターむかし新し (八)

糸音と紀南子

産業組合の思ひ出

(紀南子) バスター産組の初期について何か
 書き若くはの知りぬ話と一ったのみです
 (糸音) 産業組合を興えようといふ氣運の高
 まったのはコチア組合の先覚者と総領事
 館の勲業部の役人が各所の邦人植民地
 に働きかけた事が原動力だった。四移住地
 にはバスターが一番早く結成され一九三七年に
 伴伯国首向に登録する、正式に活動を始め
 めて来た。結成に當って一番の骨組を作った
 人は帰國した糸音町決部だが自ら引理事に
 就任せず事務的を方面を少く擔任した
 程度であった。独立小屋のとう見ても物置
 以上には儲めぬ一定の事務所と板の削りて
 看板と掲げたが餘りの貧困振りに四谷長
 次郎事務は意を決して、五米に六米の楸
 子壁にレボッキと塗った近代的なバンガローを
 建てた。驚く向此大板ニコト五百針かかった。
 四谷は満足に一任期をこへず満期後太
 が之に続き終戦後のこのころに凶弾を受
 けて翌年の近十年ばかり放任した。組合
 長は陽山友佐が最初から担い北長一同に
 多少の苦悶や悪口をいわれ乍ら陸軍大佐
 の肩書に物を言はせてワゴン振りを發揮
 したが毀辱襲撃は別として随分仕事と
 したと思ふ。アラ拓に人ぶしたり、或はおん
 ぶられたり産組と自治會の合併を劃して
 移住地運営の一歩化を計り一応成功し
 たかに見えたが元来、各の使命の相違
 かり、經めた形は混合であつて化令ではな
 かつた。それ故種々な病菌を内蔵するの原
 因を作つたとも言へるのである。
 アラ拓は完全な民間の自治体に移住地
 と移管すると声明してゐるので、自治會
 と産組とが別々存在であつては移管し
 がたい事情から兩者を合併するの体勢に
 誘つたのであろう。アラ拓の事は少しも
 よく言ひ度いのが私の立場でね、おなじの
 林にち、とはかり月給を貰つたことがある
 のでね。

恒久平和の新春と迎へて詠める
菅 不 寿 治

今年また歳徳神の久あに
注連百棒が年迎ふなり

畏くも中敵慮給ひし病棟に
注連祭り捧ぐお相ふかみけり

若水氏の雄勝が雪月を祿澤に
新 津 中 丸

敦島乃日本心を忘れねば
計の使命に注連捧ぐらん

謹 賀 新 年
一月元と

サンタテレジンニア

岡村裁縫女学校

普通科 六ヶ月

速成科 三ヶ月

研究科

入学随意

寄宿舎、
設備アリ

謹賀新年

一月元日

サンタテレジンニア

福龍裁縫女学校

普通科 六ヶ月

速成科 三ヶ月

研究科

入学随意

寄宿舎、
設備

年 五 紀南子

賀状山をなせり 楽しく討ち切る

初夢の山河故郷は永久に美し

年の積経まけさく戴けり

だがアラ格的な立場から移住地を完成
しようとする為の理論的には随分尖は
れるようである。バスターの産組
はアラ格的背景で伴ったとしても過言
ではない。又バスターの産組助成事情は
移住地完成の一方便であって産業組合
運動の本質とは自然に相違する傾向に
あるは言う過もなからう。だから移住地の
産組運動は日伯産業組合中央會指
導根本精神と歩調を合せるとも中々骨
が折れた。就中バスター産組の如き日臨山
が中央會の理事長に推されて居る関係上ア
ラ格と中央會の板挟みとなり常に頭痛ハ
チ巻きの状態であった。人のいい臨山だから
勤めたが今少しは、よりした性格の人だ
った。海刀の使いわけは一面はゆくて辛いな
とだ。たまと思ふ。その臨山さん大戦中長
く聖市に監禁され終戦不頃やると活世の
風が当たると思つた。是に従って襲撃されて不
慮に死すよけお氣の毒をすわり合せであった
(此の稿未免次号へつづく)

古 厩 北 風

昔ははやい山の朝霧トツテ摘む
トツテ摘むと大いなる笠 湧き水は
出水舟あやとり来るま、ほだか
しあわじに我老るのくや 古厩

謹 賀 新 年

一月一日

コンチネンタル殖民會社

農 田 哲

時 川 一 馬

渡 部 善 和

今 本 洋

米 田 恭

木 田 芳 一

謹 迎 新 春
 一 月 之 日
 藥 元 齒 科 醫 院
 市 ス ト ス バ
 生 貞 え 桑

謹 賀 新 年
 一 月 元 旦

ホ テ ル サ ン パ ウ ー
 池 田 正 植

保 赤 高 堂 の 萬 福 と 新 上 候

名 物 バ ス ト ス を ば

バ ス ト ス 製 麵 所

ひ め ゆ り そ う め ん

得 未 夫 宣 敷 引 引 五 福 下 小 款 上 成

ダンス 是非か

(第一部よりつづき)

(バウロ) いったんたかっパンのバイレタのきいたまがある。日本人も多分たかっパン外人に押されてゐる。また大抵の所では外人が主で、その中に少々日系が仲間入りしてゐる程度だから、そういう連中がバストスへやつてくると全く氣分的にも感じがいいのは當然だろう。一方貞の味を占した奴がバストスはいいとこだ。バストスのバイレはすてきだといふ印象がこびりついてゐる。これでもやつてゐる。(紀南子) たかっパンだと思つてゐる。バストスのモウサが特別にサビスしてゐる。と自惚れ。(素牛) なる程サビスの意味はそんなことか。(素牛) どうも春枝さんバイレの時の河原ですが、遅くから始めて遅く遅くはバイレの性格も知れんが新しいモウサを打ち樹れるといふ意味で十二時過ぎには帰りは度々を一時には司會者の同士の挨拶をするといふよゝにはいかんですか

(春枝) それはその會の目的によつて、きめられませぬ。早く帰つてはいけない規定はないから、帰り遅い人は早く帰ればいいよ。(素牛) たかっパン、さうなると遅く遅くは人の自由といふ事になつて改良論は、まけたね。何か規約をもちよ。(春枝) おかえんや、お古いの、規則々々で民主主義のようぢやないの……(素牛) フワッやられとる。素牛老は、はこんだ方が無事だよ。(紀南子) 真正の意味のナイトクラブを製作して模範的をバイレを催す業はどうか、ドットルをかき會長にして。(素牛) ワッ助けてくれ！おリヤアダンスはきつた、そんな役員をせよ、ほんうちでマツトカワッソに逃げるよ。(バウロ) 自決會長に相談して見ろよ、何とか智慧を貸してくれませんか。(紀南子) 中々ナンカイだ、バストス自決會々、ス指導部がワン成る程(此稿より)

あけまして御目出度う

やぶります

本年もとうきり引立の程を

カザビトリア

山本商店

山本 一男

カレシテバルガス街

賀正

一月元旦

松本

堀本

共營精米所

バストス市

アベニダバハリスマ

恭賀新年

一月元旦

農産物仲買

岡本商會

岡本

ドツキカカレアス街

賀正 一月元旦

バストス商業事務所

浦 恵

西 座 味バウ 徹樹

座 味バウ

前野 登

島本 昇

戸田 忠

三田 哲 雄

賀正 一月元旦

五月年 募集

将来商業にて身を立てんと

希望する青年数名を求む

一 身体強壯

一 年齢十八歳以上二十五歳迄

一 身元保証人不要

ウツパン市 アイモル街

カーカウニベルナール

(土田 逸)

新年遠拝式

一月一日 午前十時 自治会主催、産業

会館に於て遠拝式を行ひ、戦前迄は古

くは不招主催後に産業組合が主となつ

て、或は中央の催しとして新年の拝賀

を行つたものである。戦時中及終戦後中止

の形となつてゐたものを復活し在任者一

堂に會して新春の壽き遠かに母國を思

ひ聖上の宝篋魚翁を祈りんとする。

口に和合協力を叫ぶと同時に、もつ手近かな

所より実践して昔の和やかなバストスを

再現せんとするものである。

編輯室より。○新年号を作るに當つて用

紙品切りに困つたが、幸ひに「ウツパン」で採りて

間に合せたが、紙質が悪いと鮮明さを欠き、用

いた。本誌に於いて下さつた諸家におねい

せよ。紙質が悪いと紙が厚いと手回りが

倍以上か、つて出来上りが悪く二重の損であ

る。○週報は承知の通り十数年の歴史

があり、執筆者もたんと変わったが、発行

部は、一掃整な時は老幹部刷新、不足し

た。今は半分にも足りない。○内容は、編集

読者の氣持と反映するものだ、どうか、希

望の点を指示願ひたい。○今年も百部

増紙の目標で進むつもり。○印刷力と紙質。

謹賀新年

一月元旦

商貨 鞋

カーザ

バンダイランテ

谷崎徳三

フレネネカアルガス街

能句

賀春

南天子

獅子樹海出づる初日を拝みけり

新任の領事迎ふや初日の出

張り切つて市会に獅子吼お元日

山程の赤字頁はこれ初市會

賀正

一月元旦

皆さんの娛樂の

殿堂

シネバンダイランテス

古賀シネマ館

バストス、アネマルバルス街

館主 古賀 茂

ARMAZEM PAULISTA

VERONEZE S.C.I.A.

SECOS e MOLHADOS

COMPRADORES CEREAIS e ALGODÃO.

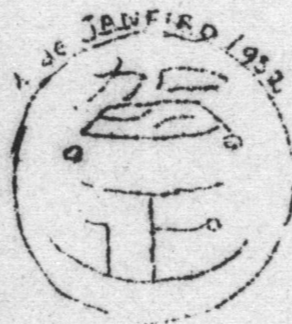
AV. Paulista 174-180

EX. Postal 230 Santos

各種買貨
各種物件
糧食
農産物
食糧
農産
食糧
農産

プルフレッド

ベロネーセ



こんな面白くハラくさせる

映画が又とありませうか

東宝珠玉篇

宝珠

真珠配役

かんけ

長谷川一夫

か

華

黒川彌太郎

と

花井蘭子

ば

宝珠

山田五十鈴

一月五日六日

午後二時九時
二回上映

入場料大人十銭 小供五銭

シネバンダイランテス